

腸管出血性大腸菌感染症 **に注意!**

腸管出血性大腸菌感染症とは？

大腸菌はもともと牛などの家畜や人の腸に存在し、ほとんどのものは無害です。しかし、一部の腸菌は、食中毒などの原因となるものがあり、それらを総称して「病原性大腸菌」と呼びます。

病原性大腸菌のうち、O157、O26、O111など約40種類は、人の腸管内で出血性下痢の原因となるベロ毒素を作るため、「腸管出血性大腸菌」と呼ばれています。

「腸管出血性大腸菌」が原因で起こる病気が「腸管出血性大腸菌感染症」です。

★主な特徴は？

- **強い感染性** わずか100個たらずの菌で感染
- **強い毒性** ベロ毒素を作る。「溶血性尿毒症症候群(HUS)」を引き起こす場合あり
- **長い潜伏期間** 菌が体内に入ってから3～8日で発症

溶血性尿毒症症候群(HUS)とは？

ベロ毒素で血球や腎臓の尿細管細胞などが壊され、急性腎不全や尿毒症、脳障害などを起こす病気

- ・O157感染者の5～10%が発症
- ・5歳以下の子供や高齢者が発症しやすく、死に至る危険あり

★感染経路は？

菌が、食品や手を介して口の中に入ることで感染する「経口感染」です。

- **一次感染** 菌が付着した食品や井戸水の飲食で感染
- **二次汚染** 調理器具などを介して菌が付着した食品の飲食で感染
- **二次感染** 感染者の便に含まれる菌が、トイレのドアノブなどに付着しそれを触った手の菌が口に入り感染

※それぞれ予防方法は裏ページにあります。



★主な初期症状は？

- **鋭い腹痛**
- **下痢**(はじめは水様便、後で血便)
(吐き気、嘔吐、発熱を伴うこともあります)



感染が疑われる場合は、ただちに医療機関を受診しましょう!

★注意することは？

- 6月～10月に多発(夏季に多い)
- 下痢の時には水分補給を
 - ・常温のスポーツドリンクを2～3倍に薄める
 - ・常温の番茶や緑茶
- 自己判断で下痢止めを飲まない
- 5～10日で回復するが、乳幼児や高齢者は「溶血性毒血症候群(HUS)」になりやすい

◆健康保菌者は要注意◆

菌が付着した食品を食べ、腸内に保菌していても、症状のない人を「健康保菌者」と言います。気づかないうちに家族などへ感染させることがあります。

京都市中丹西保健所

(中丹広域振興局健康福祉部)

〒620-0055

京都府福知山市篠尾新町1丁目91番地

TEL. 0773-22-6381

FAX. 0773-22-0429

(平成29年10月更新)

腸管出血性大腸菌感染症を防ごう！

◆腸管出血性大腸菌は食中毒の原因菌となることがあります。

食中毒予防の三原則 ～腸管出血性大腸菌の場合～

1 菌をつけない

- ・正しく手を洗う
- ・器具を使い分ける
(生肉等を扱う場合)
- ・流水でよく洗う
- ・ラップで包む

2 菌を増やさない

- ・温度管理に注意
 - ・早めに食べる
- <菌の特徴>
暖かいと増殖が速く、
低温だと遅い。ただし、
マイナス20℃でも
死なない。

3 菌をやっつける

- ・加熱(75℃、1分以上)
- ・消毒薬
消毒用アルコール、
次亜塩素酸ナトリウム

●一次感染予防

1. 食品は信頼できるお店で、計画的に購入しましょう。
2. 冷蔵庫内を整頓し、温度計をつけて、温度管理をしましょう。

◇食肉の取扱注意◇

特に生の食肉は、食中毒菌に汚染されている可能性が高いため、調理の際は衛生的な取扱いが重要です。

●二次汚染予防

1. 調理の前後、正しく手を洗いましょう。
2. 調理器具をこまめに洗い、熱湯や煮沸、消毒薬で殺菌しましょう。

●二次感染予防

1. 食事の前、トイレ後、患者の世話をした後など、正しく手を洗いましょう。
2. 患者の衣類や食器などは消毒しましょう。
3. 入浴は注意しましょう。
 - ・患者はシャワー又はかけ湯にする。
 - ・浴槽を使用する場合は混浴を避け、使用後に乳幼児は入浴させない。
 - ・バスタオルは共用しない。
 - ・浴槽のお湯は毎日取り変える。又、洗剤でよく洗った後、消毒する。



消毒 (患者発生時)

■消毒の範囲

患者の用便後、トイレの取っ手やドアノブ、洗面所など触れた部分を消毒します。



■消毒薬と消毒方法

消毒用アルコール又は次亜塩素酸ナトリウム(0.1%)をタオルに浸して絞り、拭き取ります。噴霧は行いません。

■寝衣、リネン、食器

患者が使用した寝衣やリネンは、消毒薬に浸したあと、洗濯します。患者の使用した食器は、消毒したあと、洗剤と流水で洗浄します。患者の糞便が付着した物品等も消毒します。

次亜塩素酸ナトリウム(0.1%)希釈液の作り方

<用意するもの>

- ・500mLペットボトル
- ・家庭用塩素系漂白剤
(原液濃度5%の場合)

注)漂白剤の種類によって
原液濃度が異なります。



[注意点]

- ①消毒する際は手袋をします。
- ②室内の換気をします。
- ③金属腐食性あり。消毒後10分たったら水拭きします。
- ④消毒後は石鹼での手洗いと通常の手指消毒をします。
- ⑤希釈した消毒薬の保管場所に注意しましょう。
- ⑥出来るだけ早く使用しましょう。